

特殊鋼は、鋼にクロムやニッケルなどの元素を添加することで、硬度、強度、粘り強さ、耐摩耗性、耐熱性、耐食性等、用途に応じた特殊な性能を持たせた鋼です。自動車、鉄道、建設機械、エレクトロニクス製品や情報通信機器など、さまざまな工業製品の重要部品・基幹部品として使用されるため、高い品質と信頼性が求められます。特殊鋼に求められるニーズは、最終製品の機能向上や環境負荷の低減などを背景に多様化・高度化の一途をたどっておりますが、当社グループは、長年にわたって培ってきた「高純度鋼製造技術」をベースに、それらのニーズに的確に応える高品質の特殊鋼製品を提供してきました。

当社グループの主要な最終需要先は、自動車、産業機械、建設機械業界等です。当社グループの製品には、自動車メーカー等に直接販売されるものと、ベアリングメーカーや部品メーカー等へ販売され各サプライチェーンにおいて各種の部品に加工された後、最終的に自動車メーカー等へ納入されるものがあります。近年、競合他社の生産能力の増強や品質・技術力の向上等により、特殊鋼業界における国際競争は一層激しさを増しております。

このような中、当社グループでは、事業基盤の強化を通じた盤石な企業体質の確立や研究開発・品質競争力の強化による技術先進性の更なる追求、「高信頼性鋼の山陽」のグローバルブランド化の推進等を通じて、厳しい環境の中でも持続的成長を追求してまいりました。製品の径小径化・小ロット化などへの対応、生産性や品質の向上を目的とする当社第2棒線工場のボトルネック解消投資を中心とした生産構造改革投資を執行し、当社取締役会機能の独立性・客観性と説明責任を強化するために取締役性に占める独立社外取締役の比率を3分の1に高めるとともに、代表取締役社長（議長）および独立社外取締役で構成される役員人事・報酬会議を設置いたしま

した。また、当社の強みである高純度鋼製造技術や基盤研究を活かし、EV化等新たな技術や需要動向を的確に捉えた新商品や技術等の継続的な創出を図るとともに、スウェーデンのOvakoやインドのMahindra Sanyo Special Steel Pvt. Ltd.の連結子会社化等を通じた海外事業展開などにより「高信頼性鋼の山陽」のグローバルブランド化を推進しております。

当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症の影響で深刻な状況となった世界経済の早期回復が望めないという極めて厳しい状況です。また、生活様式の変化や先進国と新興国の経済格差の拡大などにより、世界の産業構造が大きく変化する可能性があります。

こうしたなか、当社グループといたしましては、いかなる事業環境においても、確実に利益を計上することができる一層強靱な企業体質を構築しなければならないと考えています。引続きグループ全体で、徹底した固定費の引き下げ、品種構成改善や変動費コストダウンに注力し、マージンを確保し、収益力を高めてまいります。海外事業も一層強化し、今後想定される地産地消の増大への対応を含め、グローバルなネットワークを充実します。商品力・開発力をさらに強化し、強みである高純度鋼を軸に、コロナ後における各地域・各需要家の新たな要求にグローバルで応える技術先進性を拡大するとともに、当社・Ovako・日本製鉄の3社連携による相乗効果の早期発現に引き続き注力してまいります。

また、国連で掲げられたSDG's（持続可能な開発目標）や、ESG（環境・社会・ガバナンス）を重視する考え方が急速に広がっており、企業には持続可能な社会の実現に向けた貢献が求められております。

特に、気候変動問題は人類の存続に影響を与える重要な課題と認識しており、当社グループとしても従来からCO₂排出削減に向けた燃料転換や省エネ

ルギー対策などの取り組みを進めてまいりました。2020年10月には経団連が主導する「チャレンジ・ゼロ」に参加し、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを公表しました。引き続き、事業活動を通じた温室効果ガス排出削減と脱炭素社会の実現への貢献に向けた更なるイノベーションの創出を推進してまいります。

そして、当社グループが持続的に成長していくために、もう一つ忘れてはならないことがあります。それは、全ての従業員が心身とも健やかであるということです。安全と健康は、ものづくり企業である当社グループが事業活動を行っていくうえでの大前提であり、全てに優先するものです。国内外の当社グループ全社で、社員一人ひとりが安全で健康的に働きがいのある仕事に日々取り組むことができる職場づくりに継続して取り組んでまいります。

当社は、「社会からの信頼」、「お客様からの信頼」、「人と人との信頼」の確立をめざす「信頼の経営」を経営理念とし、その実践を通じた誠実・公正・透明な企業経営を推進することによってステークホルダーの皆様との信頼を積み重ねることが、当社グループが将来にわたって守っていくべき価値観であると考えております。

当社グループは、これからも「信頼の経営」の実践を通じて、大きく変化する経営環境下においても自らの持続的成長を図るとともに、持続可能な社会の実現に貢献し続けてまいります。本レポートを通じて、当社グループの活動内容をご理解いただき、一層のご支援とご助力を賜りますよう、お願い申し上げます。

樋口真哉

